



吉野川総合開発 香川用水計画概要

独立行政法人水資源機構吉野川本部より提供

吉野川総合開発計画

吉野川水系のすがた

吉野川は、“四国三郎”と呼ばれる我が国有数の大河川である。



総合開発のねらい

吉野川開発の中核として早明浦ダム等を築造し、洪水防除、発電、用水確保など四国繁栄のみちを開く。

ダム及び貯水池計画

多目的ダムとして、早明浦、池田ダムが建設された。

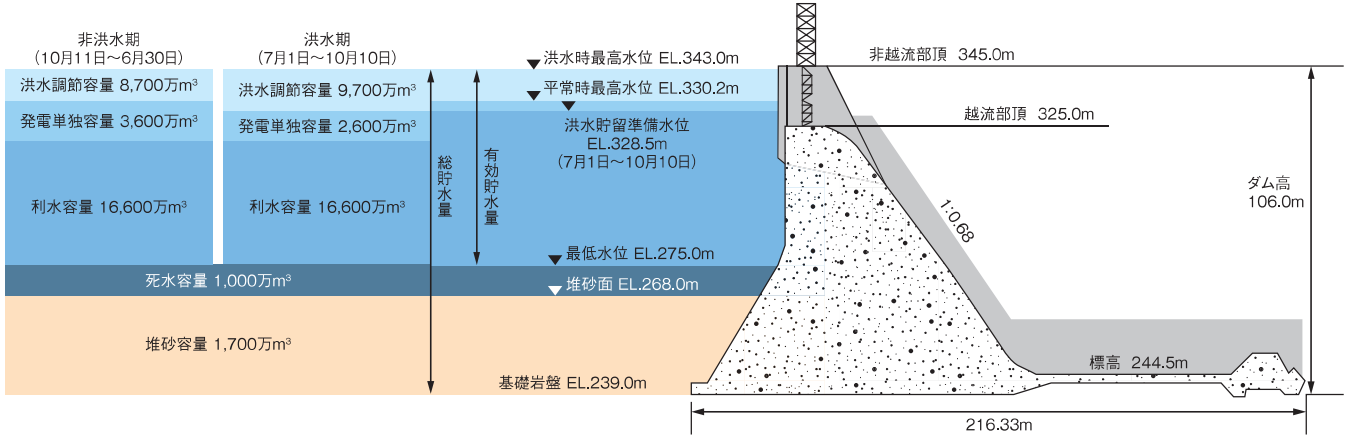


ダム名	早明浦ダム
位置	高知県長岡郡本山町吉野(左岸)
流域面積	472km ² (直接417km ² 、間接55km ²)
ダム高×ダム長	106m×400m
湛水面積	750ha
ダムの体積	120万m ³
総貯水量	3億1,600万トン
有効貯水量	2億8,900万トン
工期	昭和38～53年度
事業費	331億円



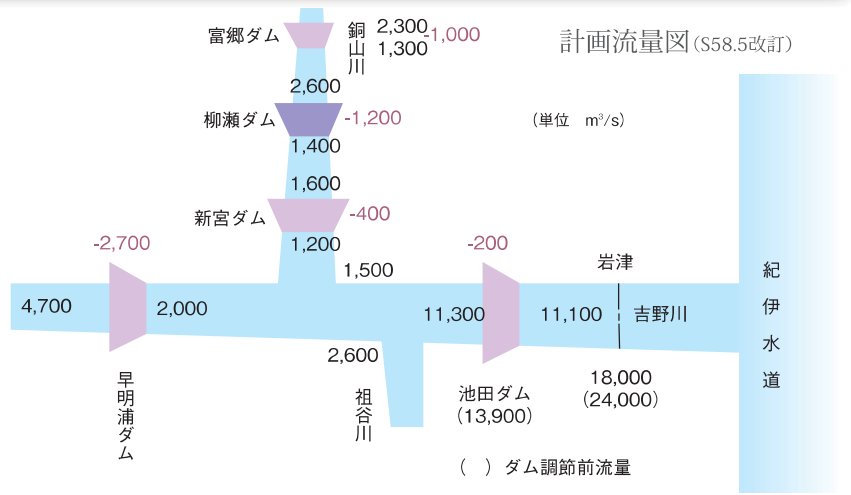
ダム名	池田ダム
位置	徳島県三好市池田町西山(左岸)
流域面積	1,904km ²
ダム高×ダム長	24m×247m
湛水面積	144ha
ダムの体積	5.2万m ³
総貯水量	1,265万トン
有効貯水量	440万トン
工期	昭和43～49年度
事業費	74億円

早明浦ダム標準断面図



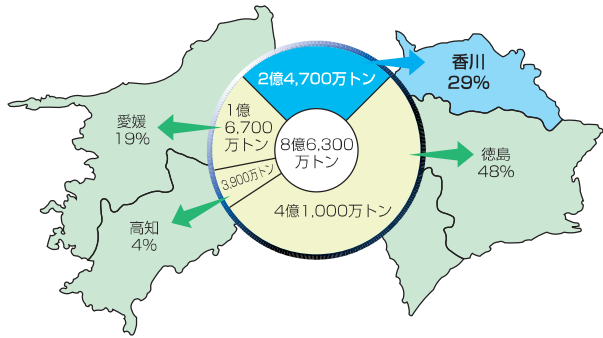
治水計画

吉野川下流の洪水の防除をはかると共に平常は流水の正常な機能の維持をはかる。



用水供給計画 (早明浦ダム開発分)

四国四県の農業用水および都市用水として、年間8億6,300万トン进行供給する。



県名	導水方法
徳島	吉野川本川並びに旧吉野川から取水する
香川	池田ダムで取水し、8kmの阿讃トンネルにより香川へ導水
愛媛	柳瀬ダムから四国中央市へ分水 新宮ダムから四国中央市へ分水
高知	瀬戸川、地藏寺川から鏡川へ分水

発電計画

5地点77,000kWの発電を行う。

区分	発電所名・最大出力	事業者
本流発電所	早明浦 42,000kW 池田 5,000kW	電源開発(株) 四国電力(株)
愛媛分水発電所	新宮 11,700kW 富郷 6,500kW	愛媛県
高知分水発電所	天神 11,800kW	四国電力(株)
計	5地点 77,000kW	

香川用水計画

香川用水のあらまし

吉野川から本県に分水される農業用水、都市用水を県内に導水利用するための計画で、本県の用水不足を抜本的に解消し、産業基盤を強化するとともに生活環境の整備を図るものである。



香川用水記念公園（三豊市財田町財田中）
香川用水の偉大な恩恵に感謝して東西分水工を中心に整備されている。
<http://www.mizupark.com>

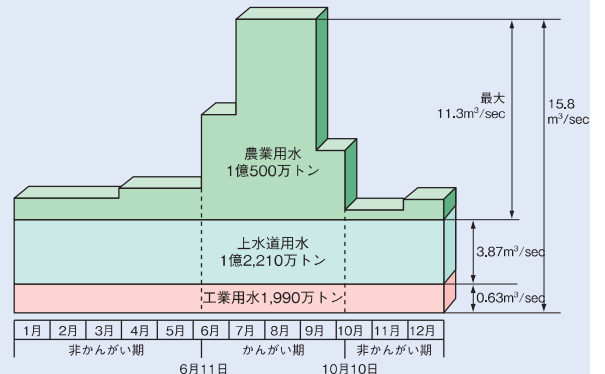
供給計画

農業用水は22,342haの農地をかんがいし、上水道用水は8市6町を対象に、また工業用水は中讃地域臨海工業地帯(番の州地区など)に供給する。

区分	供給対象	供給水量
農業用水	水田 18,659ha 樹園地 3,683ha 計 22,342ha	年間 1億500万トン
上水道用水	8市6町	日量(平均) 約33.4万トン (年間1億2,210万トン)
工業用水	坂出市・丸亀市・宇多津町の1部	日量 約5.5万トン (年間1,990万トン)

導入水量

農業用水として年間1億500万トン、上水道用水1億2,210万トン、工業用水1,990万トンで合計2億4,700万トンである。



施設計画

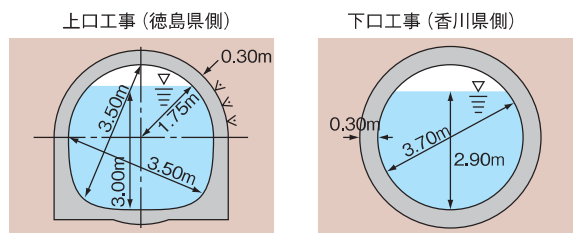
導水トンネル

香川用水は池田ダムから取水し、讃岐山脈を貫く延長8kmの阿讃トンネルを経て三豊市財田町に導水する。

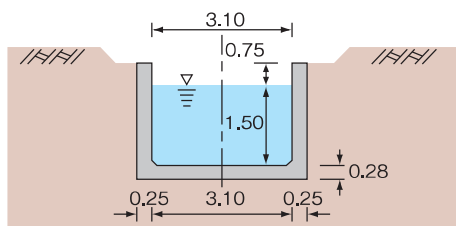
幹線水路及び専用施設

幹線水路の総延長は約98km、そのうち三豊市財田町から高松市古川までの区間(約35km)は多目的に使われる。幹線からの分水はおよそ180地点で、以下各用水の専用施設などに配水する。

阿讃トンネル (Q=15.8m³/S)

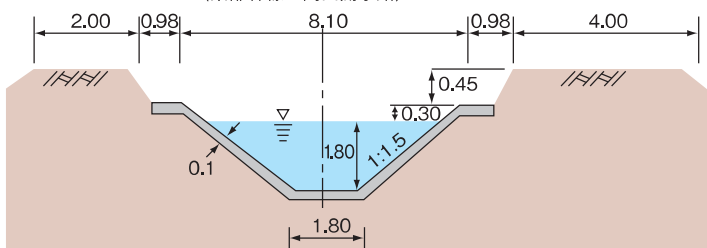


フリウム型水路標準断面図 Q=6.6m³/S
(東部幹線一川部第3開水路)



独立行政法人水資源機構吉野川本部より提供

スロープフォーム型水路標準断面図 Q=9.5m³/S
(東部幹線一岡田開水路)



独立行政法人水資源機構吉野川本部より提供

区分		共用専用別	区間及び通水量	延長	実施区分
幹線水路	東部幹線	共用	財田～古川 通水量 14.3～6.6m ³ /S	35km	水資源機構
		専用(農)	古川～宮奥池 通水量 6.6～0.2m ³ /S	39km	国(農林水産省)
	西部幹線	専用(農)	財田～姥ヶ懐池 通水量 1.5～0.35m ³ /S	13km	国(農林水産省)
		共用	神田～二の宮 通水量 2.23m ³ /S	4km	水資源機構
	高瀬支線	専用(農)	二の宮～満水池 通水量 1.33～0.78m ³ /S	7km	国(農林水産省)
計				98km	
専用施設	国営畑地かんがい	専用(農)	4地区 880ha		国(農林水産省)
	工業用水道	共用(工、上)	浄水場 中部	1力所	県
		専用(工)	配水管 坂出、丸亀地区	57km	県
	広域上水道	共用(工、上)	浄水場 西部、中部、綾川、東部	4力所	県
専用(上)		送水管 西部、中部、綾川、東部、4系統	301km	県(一部県市町共同)	
	香川用水調整池	専用(上)	容量 300万m ³	1力所	水資源機構

事業費

香川用水調整池(宝山湖)



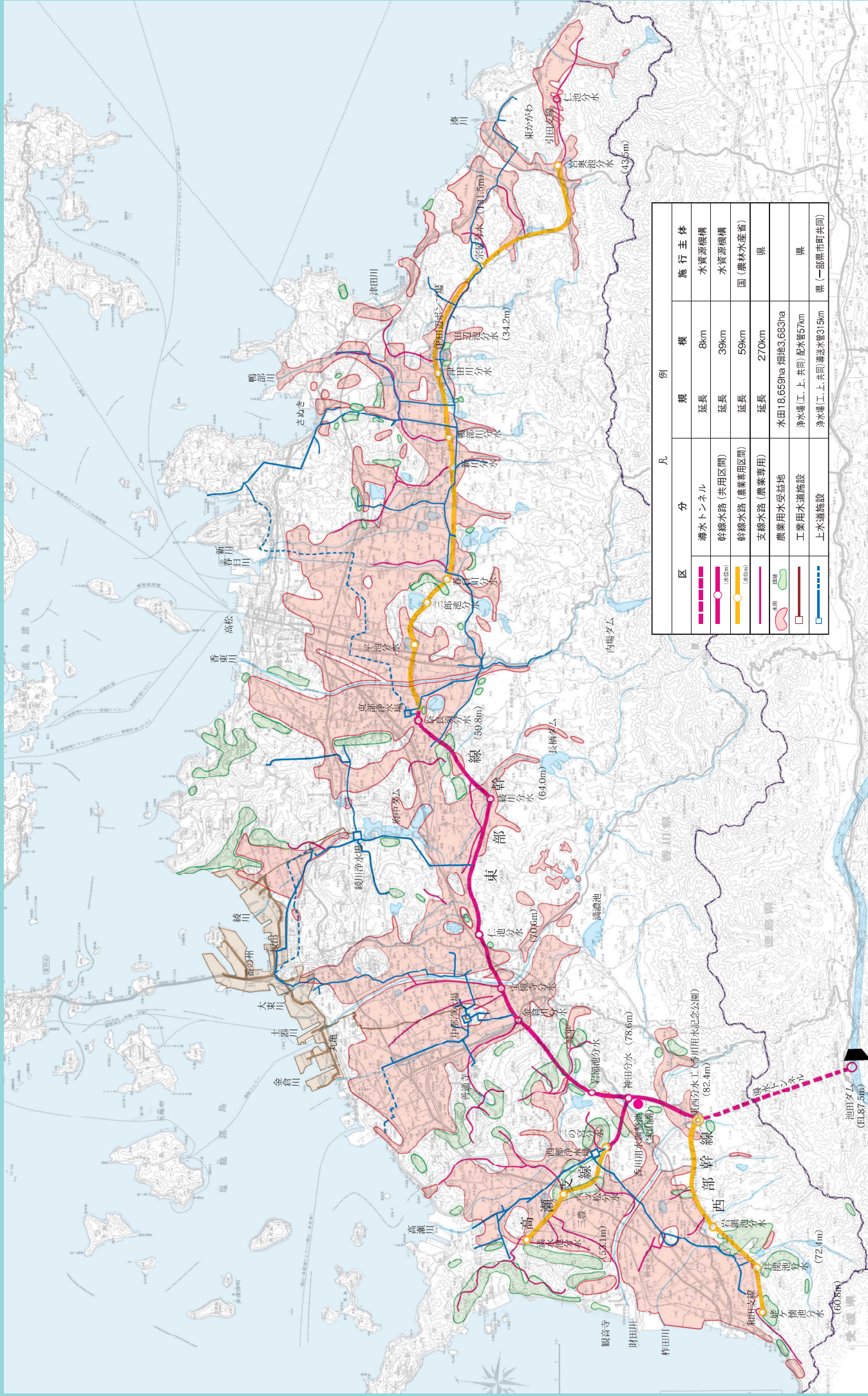
独立行政法人水資源機構吉野川本部より提供

堤高 25.0m
堤長 663.0m (本堤部240.0m)
有効貯水量 305万m³ (内水道用水300万m³)
緊急時の水道用水専用の貯水池

事業費
1,577.0億円

ダム費(早明浦、池田ダム分担額).....	66.8 億円
幹線水路費	255.3 億円
内 { 共用区間	(148.1) 億円
農業専用区間	(107.2) 億円
都市用水専用施設費	533.0 億円
農業用水専用施設費	466.9 億円
内 { 国営畑地かんがい	(20.0) 億円
付帯県営かんがい	(147.5) 億円
県営畑地かんがい	(7.5) 億円
県営畑総	(191.8) 億円
県営満濃東部	(25.3) 億円
団体営	(74.8) 億円
香川用水調整池(宝山湖)	255 億円
	建中利息含まず

吉野川総合開発香川用水計画概要図



香川用水事業の主要経過

明治 38年	県が京都帝大上野有芳助教授に、吉野川分水計画実施測量を委嘱
昭和 25年	経済安定本部が初めて吉野川総合開発計画案を発表
37年 7月	四国地方開発審議会で、「早明浦ダム」建設を中核とした吉野川開発計画の検討を開始
40年 4月	建設省が河川総合開発事業として、早明浦ダムの建設に着手
41年 6月 2日	「香川用水事業建設期成会」を結成
42年 4月 1日	早明浦ダム建設事業を建設省から水資源開発公団に移管
43年 7月 18日	水資源開発基本計画に池田ダムと香川用水を追加
43年 8月 1日	香川用水土地改良区の設立が認可される
43年10月 24日	香川用水事業起工式が三豊郡財田町の東西分木工建設予定地で行われる
48年 2月 19日	導水トンネルが貫通
48年 8月	高松地域に水ききんが発生、満濃池から高松市へ、幹線水路を利用して緊急送水
48年11月 10日	早明浦ダムの完工式を挙行政
49年 5月 30日	香川用水共用区間の通水式を、東西分木工で挙行政（上水道だけ通水）
49年 8月 1日	各家庭へ香川用水の配水を開始
50年 3月 29日	池田ダムの完工式を挙行政
50年 6月 11日	香川用水の本格通水開始（都市用水・農業用水とも）
53年 6月 11日	全線通水開始（白鳥町～豊浜町）
54年 6月 10日	国営香川用水幹線通水式を香東川サイホン出口で挙行政
59年 8月 1日	香川用水通水10周年記念式典を挙行政
60年 6月 11日	香川用水土地改良区が第1回「水口祭」を齊行
平成 4年 5月 30日	「香川用水事業建設期成会」を「香川用水事業推進協議会」に改称
6年 5月 30日	香川用水通水20周年記念式典を挙行政
9年 3月 31日	平成5年度に事業着手した国営造成土地改良施設整備事業が完了
9年 5月 10日	「香川用水記念公園」を開園
16年 7月 28日	取水量50億m ³ を達成
16年 8月 1日	香川用水通水30周年記念式典を挙行政
21年 3月 31日	平成11年度に事業着手した機構営香川用水施設緊急改築事業が完了（幹線水路補修・香川用水調整池「宝山湖」）
21年 8月 24日	取水量60億m ³ を達成
26年 3月 31日	平成21年度に事業着手した国営造成土地改良施設整備事業が完了
26年 9月 3日	取水量70億m ³ を達成
26年11月 22日	香川用水通水40周年記念式典を挙行政
30年 8月 1日	香川用水土地改良区設立50周年記念式典を挙行政
令和 元年 9月 25日	取水量80億m ³ を達成

香川用水事業推進協議会

(2023.4)

